広報

あさひまち

ASAHI-MACHI

3
平成10年
(1998)
月号
NO.496

晴れやかな笑顔の旅立ち

県立左沢高校朝日分校最後の卒業式・3/2

(関連記事8・9ページ)

排水処理整備に関するアンケート調査のまとめから

さわやかな生活環境づくり

合併処理浄化槽と下水道で快適生活

町では平成二年度から〝清流のよみがえる町〟をめざして、合併処理浄化槽の設置事業を展開してきました。しかし、設置数が伸び悩んでいるのが現状です。

このようなことから町では、生活排水処理施設整備計画（案）を作成し、それに伴い「排水処理整備に関するアンケート調査」を実施しました。

今月はそのアンケート結果と生活排水処理施設整備計画（案）についてお知らせします。

水洗化をさらに進めるための整備計画（案）を作成

町では、さわやかな生活環境をつくり〝清流のよみがえる町〟をめざし、平成三年三月に生活排水処理基本計画書を策定して、合併処理浄化槽の設置を推進してきました。

しかし、最終計画年度である平成十一年度を間近にし、計画設置数二千基に対し平成九年三月末の設置数は四百五十二基、設置率は二二・六％と伸び悩んでいるのが現状です。これは、生活排水を流す排水路や浄化槽を設置するための敷地の問題、住宅の改造にともなう経費の問題などが大きな原因と考えられます。

このようなことから町では、合併処理浄化槽推進協議会などで町全体の排水処理整備について検討を重ね、生活排水処理施設整備計画の素案《以下＝整備計画（案）》を作成しました。

この整備計画（案）は、これまでのような合併処理浄化槽による処理だけでなく、集合処理方式の下水道や集落排水処理も推進していこうというものです。宮宿地区のように住宅が密集している地域では、合併処理浄化槽を設置する場所の確保がむずかしい所もあります。このため、住宅が密集している地域では、公共下水道と農業集落排水。その他の地域は、これまでと同様に合併処理浄化槽による排水処理。これら三つの方法を効率良く組み合わせることで、快適な暮らしをめざそうというものです。（図①）

生活排水処理整備計画図（案）　図①

●公共下水道……建設省
　通常、都市計画区域内（市街地）で行われる下水道をいう。
●農業集落排水……農林水産省
　農村総合整備事業で整備されるもので、農業用排水の水質保全のために地域が限定された小規模な範囲で行われる下水道をいう。
●合併処理浄化槽……厚生省
　下水道のない地域で水洗トイレを使用する場合、し尿と生活雑排水を同時に浄化して河川などに流すための装置をいう。

町民の声を反映させるため アンケート調査を実施

町では、町民のみなさんからの具体的な意見や要望を整備計画に反映させるため、整備計画（案）に基づいた「排水処理整備に関する調査」を実施しました。

アンケート調査は二回にわたって行われ、現在は、その結果を参考に整備計画（案）の見直し作業を行っています。

アンケート調査は次のように行いました

アンケート調査は、二回にわたって実施しました。一回目は、昨年の九月に大谷地区（大谷一～大谷六・大谷地区集落排水処理施設を昭和五十六年に整備済み）を除いた町内全戸の二千百三十七戸。

二回目は、今年の一月に公共下水道予定区域の宮宿地区、農業集落排水予定区域の和合、太郎、常盤、夏草、西船渡、松程、真中、舟渡、栗木沢地区の千四百十八戸を対象に、下水道にかかる費用や受益者負担金などを明示してアンケート調査を実施しました。

一回目は千九百八戸（回答率八九・三%）、二回目は千二百六十五戸（回答率八九・二%）の方から回答していただきました。ただし、町営住宅や雇用促進住宅は含まれていません。

問1. あなたの家の家庭排水は、どこに流していますか。

回答	
合併処理浄化槽で処理している	21.7%
国、県道や町道の側溝に流している	25.4%
農業用の用水路や排水路に流している	26.2%
川や沢に直接流している	14.4%
その他、無回答	12.3%

問2. あなたの家では、家庭排水の処理で困っていませんか。

回答	
人目につくところで気がひけ困っている	9.4%
悪臭や蚊、ハエが発生し困っている	10.4%
困っていない	68.8%
その他、無回答	11.4%

問3. 現在あなたのトイレは、どのようになっていますか。

回答	
水洗式	32.0%　（合併処理浄化槽21.0%、単独浄化槽11.0%）
くみ取り式による業者委託	63.1%　（簡易水洗トイレを含む）
自家処理	2.0%
その他、無回答	2.9%

アンケート調査結果を紹介します

問1の「あなたの家の家庭排水は、どこに流していますか」という設問では、用水路、排水路や道路の側溝に流しているが全体の五一・六%。次に合併処理浄化槽の処理が二一・七%、川や沢に直接流しているが一四・四%と続いています。

問2の「あなたの家では、家庭排水の処理で困っていませんか」という設問では、困っていないと答えた人が六八・八%となっています。

反面、人目につくところで気がひけるや悪臭や蚊、ハエが発生し困っているが一九・八%となりました。特に悪臭や蚊、ハエが発生し困っていると答えた地区は、家庭排水を道路の側溝に流しており、うまく流れていないためと考えられます。

問3の「現在あなたの家のトイレは、どのようになっていますか」では、くみ取り式による業者委託が最も多く六三・一%となりました。次に水洗式の三二・〇%で、内訳は合併処理浄化槽の二一・〇%、単独浄化槽の一一・〇%の順となっています。

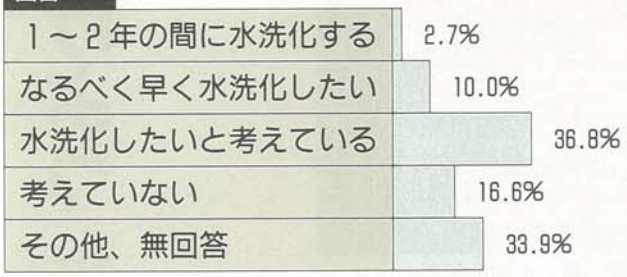
問4の「今後はあなたの家のトイレを水洗化したいと考えていますか」という設問では、水洗化したいと考えているが四九・五%となっています。早く水洗化したいと答えた地区は順に和合地区、太郎地区、松程地区となりました。

問5の「合併処理浄化槽の設置がなかなか進まない理由として、あなたはどのように考えますか」という設問では、最も多いのが工事費が高いが五九・七%、次に排水路がなく流すところがないが一二・三%となっています。やはり、経費的な問題が設置の進まない大きな原因となっているようです。

問6の「下水道の整備について、あなたはどのように考えますか」という設問では、公共下水道区域で賛成するは七一・二%となっています。また、賛成できないは二四・四%となりました。農業集落排水区域で賛成するは六九・二%となっています。賛成できないは二五・八%となりました。

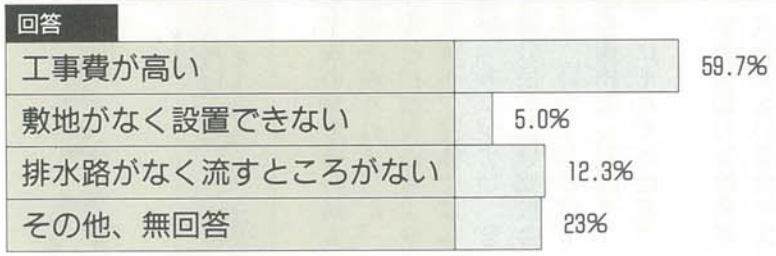
問4. 今後はあなたの家のトイレを水洗化したいと考えていますか。

回答



問5. 合併処理浄化槽の設置がなかなか進まない理由として、あなたはどのように考えますか。（合併処理浄化槽区域のみ）

回答



問6. 下水道の整備について、あなたはどのように考えますか。
2回目のアンケート調査（公共下水道、農業集落排水予定区域のみ）

回答

回答

質問以外に寄せられたさまざまな意見や要望

- 早急に下水道や排水路の整備をしてほしい（71件）
- 老人世帯や一人暮らしのため考えられない（29件）
- これまでの合併処理浄化槽でよい（25件）
- 合併処理浄化槽を設置した人のことを考えてほしい（25件）
- お金がかかることであり参加することができない（23件）
- 合併処理浄化槽は悪臭がするため問題である（19件）
- 転出を考えている（15件）
- 二重投資になる（9件）
- その他（66件）

70%が下水道整備に賛成 しかし、不安な声も

アンケート結果より、公共下水道、農業集落排水区域内の下水道の必要性については、七〇%が賛成であるとの回答でした。四人のうち三人が生活環境の改善を望んでいるようです。

しかし、反対と答えた人の意見の中には、「合併処理浄化槽を推進してきたのに、なぜ下水道にする必要があるのか理解できない」、「合併処理浄化槽を廃止し下水道に加入するとなれば、さらに取り壊し費用などがかかり二重の負担となる」「老人世帯の一人暮らしや後継者がいないため、設置することは考えられない」などの意見が寄せられました。

町としては、これらの意見を参考にすでに合併処理浄化槽を設置した方が、不利益にならないようにするなどの対応策を十分に検討していく考えです。

快適な生活環境をめざして

水洗トイレは健康な人はもちろんのこと、お年寄りや障害者、介護する者にとっても、快適で衛生的です。

また、生活排水対策は地球を汚染し、消費しながら生活しなければならない私たちにとって、一番身近にできる環境対策です。

今回、紹介した整備計画（案）による生活排水処理方法は、今後の国の制度改正などにより、計画が変更になることも十分考えられますが、アンケート結果をもとに、町民のみなさんの声が反映される整備計画づくりに努めたいと考えています。

◆特集を読んでのお問い合せは役場建設課まで（☎67－2115）

広げよう 学ぶよろこび 地域の和

第10回生涯学習推進大会

「角田流八ツ沼獅子踊」が特別出演

町民のみなさんの生涯学習の場として「朝日町民大学」を開校してから十周年を迎えました。今年度の学習活動を振り返る第十回朝日町生涯学習推進大会が二月二十一日、町中央公民館で開催されました。

大会では始めに、町民大学の共通科目三単位以上、専門科目七単位以上取得した百十二人を代表し、大井みちよさん(常盤)に町民大学学長の清野隆町長より履修証書が手渡されました。

続いて㈱朝日相扶製作所より贈られる特別賞が、団体ではユニークな館報「あーがすけ」を発行した舟渡公民館編集委員会に。個人では、計六十四単位を取得した最多履修者の阿部チヨさん(松程)にそれぞれ贈呈されました。

続いて、学習活動の体験発表が行われ、大谷地区の歴史や文化を掘り起こした「風和会」や町グラウンドゴルフ協会、女性文化教室ダンス部が学習の成果や実技を紹介。また、県無形民俗文化財に指定されている「角他流八ツ沼獅子踊」が特別出演し、郷土芸能を披露しました。

午後からは、漫画家の富永一朗さんの「人生みな恩人」と題した記念講演が行われました。富永さんは「以前は教員をしており、ふとしたことで校長から首にされずっと恨んでいた。しかし、教員時代のことを思い出し考えてみたとき、今の自分が漫画家として成功したのは、その人のおかげであると思うようになった。泣いても笑っても一日は一日、どうせなら楽しく過ごしたい。人生の終着駅は〝ロマン駅〟をモットーに生きていきたい」と、自分の人生を振り返り学んだことを約三百人の参加者に語りかけていました。

会場を笑いの渦に巻き込んだ富永一朗さん

朝日山麓家族旅行村
Asahi自然観だより ⑧

美容と健康にりんご冷麺(めん)はいかがですか

スキーシーズンも残すところあとわずかとなりました。今シーズンは雪不足に悩まされ、スキー場の営業開始が1月6日となり、みなさまには大変ご迷惑をおかけしました。最後までご利用いただき誠にありがとうございます。来シーズンもよろしくお願いいたします。

さて、町特産のおいしいりんごを使ったりんご冷麺はいかがでしょうか。これはりんごを粉末にして冷麺に練り込んだものですが、人間の体に不足していると言われる食物繊維が豊富に含まれています。冷麺1食でりんご1個分の食物繊維が摂取できます。

とってもヘルシーで美容と健康に良い「りんご冷麺」をレストラン〝スジェール〟でご賞味ください。

☆価　　格　1,000円(りんご冷麺、季節の小鉢デザート付)

☆営業時間　(10時～15時)

また、現在お持ち帰りのできるお土産用りんご冷麺を開発中です。3食入り1,000円(消費税別)で4月1日発売予定です。

◆お申し込み・お問い合わせは朝日自然観まで
(☎0237―83―7111)

口当たりが良くおいしいと評判のりんご冷麺

「何がすきなの朝日町、何がいやなの朝日町」

～地域開発討論会～

町地域開発研究会（阿部宗一郎会長）主催による地域開発討論会が二月十一日「何がすきなの朝日町、何がいやなの朝日町」をテーマに開催されました。これは、わたしたちの住んでいる町の魅力や豊かさを見直し、町に関心を持ってもらおうというものです。

はじめに、高橋由紀さん（お茶の水女子大学ジェンダー研究センター）をコーディネーターに四人の話題提供者から朝日町の好きな点といやな点を十分間程度話していただき、それをもとに参加者六十人が五グループに分かれ討論を繰り広げました。

町のいやなことについては、「高校生になると下宿などの教育費がかさむ」「自己表現に乏しい町民性」「噂話が独り歩きをする」「若者の働く職場が少ない」などが出されました。

また、好きな点は「自然が豊かで人情味がある」「りんごやワインがおいしい」「住宅環境が都会に比べてよい」などの意見が出されました。

さらに、全体会では町への提言として「日本一の田舎のまちづくりの実現」「山形市に町営の学生寮をつくる」「一人一趣味運動の実践」などが上げられました。

最後に阿部会長は「町が幸せにならなければ個人の幸せはない」「住民の幸せの責任は、住民自身に七〇パーセントぐらいある時代になった」「これまでの村おこしは都会を田舎に持ち込むことであったが、現代はお金絶対の考え方から人間の生活する環境に変わって来つつある。この変化を捕らえ、私達の住む足元を見据え、真の宝物を探さなければ本当の幸せは得られない」と締めくくられました。

図書等の自動販売機が急増しています

青少年の健全育成にご協力ください

最近、成人向けの図書やビデオ、大人のおもちゃなどを販売する自動販売機が急増しています。

これらの自動販売機は、街頭に設置されているため青少年の目に触れやすく、また、青少年でも簡単に購入できることから、「青少年の健全育成」を著しく阻害する恐れがあります。

このような自動販売機を設置するために、業者が土地の提供を求めてきた場合には、収納（販売）物品をよく確認し、「青少年の健全育成」の観点から、慎重な判断をお願いします。

なお、土地の提供を求められた場合には、契約を結ぶ前に町教育委員会生涯学習課（☎67―2118）または、西村山地方事務所県民係（☎86―8111）までご相談ください。

また、最近学校での刃物などによる不祥事が全国で発生しています。学校における教育活動は、教職員と児童生徒の信頼関係が一番大切なことです。

各家庭においても命の大切さ、物事の善し悪しの区別などをよく話し合い、このような事件が発生しないように努めましょう。

完成を祝って

大沼区主要道完成落成式

大沼区主要道完成落成式が二月二十八日、大沼分校で行われました。

この日は、区民や町関係者ら約五十人が参加。昭和五十七年度から今年度までに整備された町道四路線の完成を区民あげて祝いました。

四路線の総延長は、二千五十三・一メートル、総工事費約二億四千二百一万円となりました。

区長の小林為五郎さんは「町からの支援により、集落内の幹線道路が整備されました。道路が広くなり便利になったことを、全区民で喜んでいるところです」と語ってくれました。

今年度に整備された町道大暮山線

県立左沢高等学校朝日分校最後の卒業式

分校の思い出を胸に旅立つ

分校最後の卒業式

県立左沢高等学校朝日分校の最後の卒業式が三月二日、同校体育館で行われ、十六人の卒業生が思い出多い学び舎を巣立っていきました。

式典では、父兄や恩師らが見守る中、漆山新太郎校長より卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡されました。また、卒業生を代表して布施洋一くん（大町）が「朝日分校が閉校しても、私たちの母校だということを忘れてはならない」と答辞を述べました。

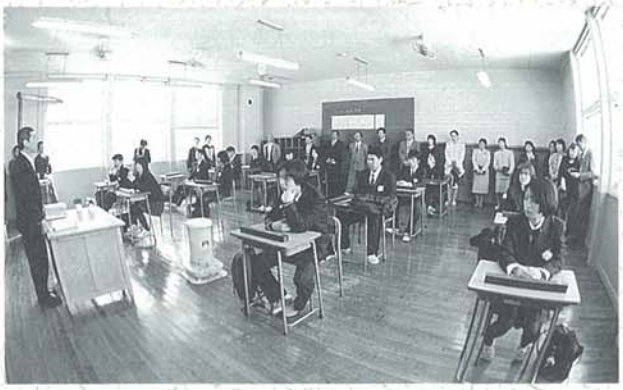
同分校は来年度の休校に伴い、現在の一、二年生十人は大江町の本校へ転籍することが決定。昭和二十三年の創立以来、三千四百十五人の卒業生を輩出した五十年あまりの歴史も、三月三十一日をもち幕が下ろされることになります。

漆山校長より一人ひとりに卒業証書が手渡された

カメラさんぽ

3415人が学んだ校舎

卒業生と在校生、恩師全員による記念撮影



最後のホームルーム

最後の卒業生となった渡辺真美さん。証書番号は3415号

思い出多い学び舎をバックに記念撮影

恩師と握手やハイタッチを交しながら、
晴れやかな笑顔で退場

まちの話題

まちの話題…❶　第18回北部地区素人演芸会

プロ顔負けの素人芸　ひと足先に春がきた

第18回北部地区素人演芸会が３月１日、秋葉山交遊館で開催されました。

冬の娯楽として２年に１回開かれている同演芸会は、今年で18回目。「村おこし　北部の演芸　春まつり」をキャッチフレーズに、園児からお年寄りまでの約350人が計36のプログラムを発表しました。

会場は500人を超える観衆で満員御礼。各地区の婦人会や文化教室などによる舞踊や唄、劇などプロ顔負けの素人芸が次々に披露されると、舞台にはたくさんの〝おひねり〟が飛び交っていました。中でも、わかば保育園の園児が、かわいい衣装で「花さかじいさん」の音楽劇、養護老人ホーム「明鏡荘」のお年寄りが、奇妙なコスチュームで〝軽やか〟な踊りを演じると、盛んな拍手と大きな笑い声が会場いっぱいに広がっていました。

まちの話題…❸　ワインの夕べ

ワインの味と香りを満喫

ワインの夕べが２月28日、町農業団地センターで行われました。

これは、町商工会婦人部が主催となって開催されたもので約250人が参加。朝日町ワインの全種類と３月５日の発売に先がけアイスエッセンスの試飲会が催されました。

参加者は「アイスエッセンスは、甘いだけでなくコクがあっておいしいです。最近は体に良いといわれている赤を好んで飲んでいます」と大満足の様子。ムードあふれる室内楽演奏を聞きながら、朝日町ワインの味と香りを満喫していました。

まちの話題…❷　雪中田植え

伝統行事の復活

苗に見立てたワラなどを雪上に植えることで、米の豊作を祈った伝統行事「雪中田植え」が２月28日、前田沢公民館で行われました。

前田沢地区の歴史に詳しい今井俊助さんは「雪中田植えは昭和30年ころまで小正月の１月15日に行われていた年中行事でした。前田沢の村史を作成中で約40年ぶりに復活させたが、来年はお柴灯（さいとう）の時に子供たちから体験してもらいたい」と語ってくれました。

まちの話題…❺　全日本交通安全協会表彰

藤原光雄さん

佐藤俊實社長

藤原さんと大東建設㈱が交通安全協会表彰を受賞

第38回交通安全国民運動中央大会の席上で、藤原光雄さん（本町）に全日本交通安全協会（平岩外四会長）の交通栄誉章「緑十字銀章・優良運転者」が、同じく大東建設株式会社（佐藤俊實社長）に交通安全優良事業所表彰を受賞しました。

藤原さんは、大江地区交通安全協会副会長を務められ、自動車の運転を通じ交通事故の防止と交通ルールの啓蒙に貢献された功績が認められました。

大東建設株式会社は、昭和23年の創業以来、「明るく正しく、安全で心豊かな地域社会づくり」を社是に掲げ、交通事故や労災撲滅に役職員一丸となって取り組んできた功績が認められたものです。

藤原さんは「交通ルールを守ることは事故防止はもちろんのこと、自分自身を守るために必要不可欠なものです。これからも交通事故防止のため努力していきたい」と語ってくれました。

まちの話題…❹ 写真コンテスト

北部の自慢大集合

北部地区の自治公民館の活動や地区の自慢の写真を募集した「おらほの自慢！写真コンテスト」が行われました。

同コンテストは今年初めて行われたもので、応募も表彰も自治公民館単位。賞品は灯油200ℓからカラーフィルムまでと、公民館活動にはなくてはならない必需品が用意されました。

作品は綱引きやレクリエーションの様子など、楽しさが伝わってくる力作が数多く寄せられました。

なお、作品は秋葉山交遊館の視聴覚教育室に４月10日まで展示されています。ぜひ、一度ご覧ください。

まちの話題…❼ 山菜料理講習会

プロの山菜料理を学ぶ

町研究所公開講座「山菜料理講習会」が２月21日、町中央公民館で行われました。

講師に遠藤繁さん（長井市・山菜料理「はたや」経営）を迎え、約30人が参加。こごみ、うるいの塩漬けや冷凍、解凍の仕方など、遠藤さんならではの保存方法、料理の仕方を教えていただきました。

参加者は「冷凍したと思えないほどとてもシャキシャキで新鮮でした。教えてもらったプロの保存方法を今度実践してみます」と、熱心にメモを取りながら語ってくれました。

まちの話題…❻　第34回町民卓球まつり

第34回町民卓球まつりが２月１日、町民体育館で行われました。

成績は次のとおりです。

●団体の部
１位　送橋　２位 太郎
３位　たっきゅう'S　４位 西町

●小学男子シングルスの部
１位　海野豊弘（西五百川小５年）
２位　岡崎直樹（水本小６年）
３位　佐竹友貴（西五百川小５年）
〃　志藤友則（西五百川小５年）

●小学女子シングルスの部
１位　清野友理子（送橋小４年）
２位　清野紗由美（送橋小１年）
３位　清野友麻子（送橋小４年）
〃　阿部美佳（西五百川小５年）

●中学男子シングルスの部
１位　長岡道悦（太郎二）
２位　長岡広志（太郎二）
３位　鈴木　敦（西船渡）
〃　長岡寿和（大町）

●中学女子シングルスの部
１位　菅井沙織（太郎一）
２位　佐竹由香理（太郎一）
３位　阿部由岐恵（夏草）
〃　長岡恵美（太郎一）

●ラージボールシングルスの部
Aブロック
１位　阿部正春（夏草）
２位　渡邉節子（送橋）
３位　阿部チアキ（夏草）
Bブロック
１位　松田カツヨ（西町）
２位　吉田芳美（西船渡）
３位　大場政子（前田沢）

●一般オープンダブルス
１位　滝川芳巳・滝川雅子
２位　兼子伸也・兼子美恵子
３位　柴田　徹・阿部正好
〃　阿部正樹・成原千枝

●親子ダブルスの部
１位　清野友麻子・雅英（送橋）
２位　阿部竜也・正好（今平）
３位　柴田里奈・徹（長沼）
〃　佐竹友貴・富士子（松程）

みんなのひろば

栄町／朽木憲一さん　時さん

すてきな新婚さん

お互いの友達同士の飲み会で、たまたま一緒になった憲一さんと時さん。憲一さんは、とても明るくて思いやりのある時さんに一目ぼれとなり、週に何度もラブコールを送り続けたとか。そんな憲一さんの優しくて誠実な人柄にどんどん引かれていったそうです。

また、時さんがおいしいお店を探すのが趣味と聞き憲一さんはさっそく、お父さんの経営する焼き鳥屋に。時さんはすっかりファンになってしまい憲一さんへの想いを決定づけた、そんなユニークな？エピソードのあるお二人です。

子供が大好きというお二人は、「子供は最低３人」と断言。休みの日には、時さんの散髪もしてあげるという理容業の憲一さんは「子供に囲まれながら笑い声のあふれる、ほのぼのとした家庭にしたいですね」と語ってくれました。いつまでもお幸せに!!

すてきな仲間たち ㉟

「大谷ピカチュー」冬期限定(お酒じゃないよ)バドミントンクラブです

大谷地区のバドミントン好きが集まった冬期限定クラブです。メンバーは、バドミントン歴20年以上の者から初心者までと幅広く、子供たちも一緒に練習するファミリーのようなクラブです。

一見バドミントンは、軽スポーツのようにとらえられがちですが、限られたコート中をシャトルを追って動き回ると、冬でも汗びっしょりになる運動量で、ストレス発散にはもってこいです。

現在は、３月下旬に行われる町大会へ向けて猛練習中です。目標はもちろん優勝ですが、勝っても負けてもお酒だけはみっちり飲もうと、全員堅く心に誓っています。メンバー募集中!!初心者にも会員が優しく？指導します。　（代表　川村幸広　☎68―2838）

せんせい わかば保育園 あ・の・ね

（給食のときに）

園児Ａ「ぼく、うどん大好き」

園児Ｂ「私も大好き」

保　母「みんな大好きなんだね」

園児Ａ「でも、これ食べらんね」

保　母「どれどれ、何食べられないの」

園児Ａ「花丸」

保　母「なんで、みんな花丸喜ぶよ」

園児Ａ「その花丸じゃなくてよ、うどんの花丸だもん」

保　母「うどんの花丸？あっ、鳴門巻のことね・・・」

ひとことトーク

もっと冬を楽しもうよ

～カナダ仕込みのスノーボーダー～

近藤　雄二さん
（栄　町）

スノーボードで一番楽しいのは新雪を滑ることです。ボードを軽く雪にくい込ませ、急斜面を降りていくと、何ともいえない浮遊感を全身で感じることができます。

現在は、朝日自然観スキー場で働いていますが、ここは日中でも新雪がどんどん積もるし、変化にとんだ斜面と柔らかい雪質は、ボーダーにとって最高です。また、ボーダーを温かく迎えてくれる雰囲気もいいですね。

以前に、カナダのウィスラーで一年三カ月ほど暮らしました。広大なスキーエリアと一年中滑れる環境でボーダーのレベルが高く、自分の技術も友人の指導で上達しました。このカナダ仕込みの技術をみなさんに広めることができればと思っています。見かけたら気軽に声をかけてください。

事業所ほうもん㉖

宮宿衛生社

電話　67－2297
FAX　67－2411

宮宿衛生社

合併処理浄化槽の水質検査

ずらり並んだ処理車

▼宮宿衛生社を紹介してください。

西村山一円の浄化槽維持管理や清掃、事業所から発生する産業廃棄物収集運搬、町内では家庭のし尿くみ取りを主な仕事としています。その他、保健機関から出る医療廃棄物などの特別管理産業廃棄物収集運搬も行っています。

▼いつも心掛けていることは何ですか。

お客様の希望する日時を守り、みなさんが快適な生活を送ることができるよう、誠意をもって仕事をするようにしています。また、合併処理浄化槽の維持管理は、すぐに生活環境に影響を及ぼす仕事ですので、特に注意をしています。

▼これからの抱負をお聞かせください。

四月から新たに実施されるごみの分別収集では、事業系のゴミを収集することになっています。この仕事を通して、朝日町がいつまでも美しく、地球にやさしい町であるよう、微力ながら精一杯頑張っていきたいと思っています。

町民の声

みなさんからのお便りでつくるコーナーです。
町に対する意見や要望、楽しい話題、イラスト、
質問など待っています。

〔あて先●朝日町大字宮宿1115番地
朝日町役場総務課文書広報係〕

道路標識について

国 道287号の真中茶屋前にある道路標識には、「名勝大沼の浮島」と標示されていますが、「大谷」という標示がありません。そのため、大谷に用事があって来た方たちが大谷への入り口を通り過ぎてしまい、和合や四ノ沢、または中沢や富沢まで行って逆戻りして来たということをときどき聞くことがあります。

そこでお願いですが、国道から大谷に入る真中茶屋前と栗木沢明鏡橋周辺の道路標識に、「大谷」という標示を入れてもらうよう関係機関に働きかけをお願いします。

【鈴木紀・大谷五】

答 道路標識については、その路線の経由地及び終点を標示することになっていますので、必ずしも満足できる標示内容となっていない箇所があります。

そのため現在、寒河江建設事務所が標識の見直し作業を進めており、真中茶屋前の道路標識には、「大谷」の標示を入れることになっています。

また、明鏡橋付近については、和合バイパスとの関連で、現在は困難であるとのことです。

【建設課】

町立病院診療日の見直しを

町 立病院が新しく整備され立派になりましたが、第二、第三、第四土曜日が休診日のために、町外の病院に通っている方がたくさんいます。

また、勤務時間外は、救急で病院に行ってもレントゲンやCTが撮影できないため、機械を導入した意味がないと感じます。

町の病院ですので、町民だれもが安心して、いつでも気軽に行けるよう考えてください。

【匿名希望】

答 朝日町立病院は、開業以来今年で四十年を迎えることになりました。おかげさまで現在工事中の診療棟も三月末には完成する見通しとなり、これまで以上に町民のみなさんに信頼される町立病院をめざし努力しているところです。

さて、ご提言のあった診療日の件ですが、外来の職員体制は、医師、看護婦、薬剤師、X線技師、検査技師、事務職などで構成されています。労働基準法の改正及び人事院勧告を受け、平成六年四月から職員の勤務時間が週四十時間と定められました。

従いまして、現在の診療日は、職員数を増員しなければ変更できない状況ですのでご理解をいただきたいと思います。ただし、救急患者への対応は、二十四時間体制で万全を期してまいります。

なお、県内の自治体病院の診療日は、当町立病院と公立高畠病院を除き、毎週土曜日を休診日と定めています。

また、六月から十二月までの土曜日は町民のみなさんの胃の精密検査を実施してることを申し添えます。

また、現在町民のみなさんから要望の多い整形外科については、早期に開設できるよう関係機関へ協力を願っているところですのでご理解下さるようお願いします。

【町立病院】

図書券が当たる 広報◆クイズ

【問題】
①右の写真は朝日町ワインファンに大人気の「○○○の夕べ」
②佐竹悟さんが日本一に輝いた「読書○○○コンクール」
③十周年を迎えた「朝日○○大学」

【応募方法】
正解を「広報あさひまち」の折り込みハガキに書いて送ってください。正解者の中から抽選で三人の方に図書券をプレゼントします。また、答えの下に広報の記事について感想をお聞かせください。お願いします。

【二月号の答え】①ランタン②技術③六人

【応募者総数】三十七人

【二月号の当選者】鈴木繁さん(栄町)・笹原勉さん(新宿)・白田二三子さん(栗木沢)

こせきのまど

■2月1日～28日届出

すこやかに
（出生届）

区名	出生児氏名	保護者名
常盤	阿部拓郎（たくろう）	幸司
栄町	齋藤早紀（さき）	頼靖

おしあわせに
（婚姻届）

和南城寛志（栄町）	♥	長岡千陽（太郎三）
岡﨑勉（夏草）	♥	楊紅英（中国）
菅井聡（小原）	♥	成原志乃（新宿）

やすらかに
（死亡届）

区名	死亡者氏名	世帯主
送橋	安藤正夫	武男
夏草	阿部小七	一雄
太郎二	阿部孫七	本人
西船渡	若月たまの	紀男
大谷四	内藤耕三	本人

●掲載を希望しない方は、お届けの際にお申し出ください。

人口と世帯数

●平成10年2月28日現在

人口		9,861（増 4）
	男	4,896（減 1）
	女	4,965（増 5）
世帯数		2,581（増 1）

（ ）内前月比

くらしの知恵袋 ⑱

阿部のぶさん（常盤）

お彼岸にアケビの煮物はいかがでしょう。カンピョウで結ばれたアケビには、野菜がたくさん入っており、柔らかくてお客様にも喜ばれます。

◆干しあけびの煮物

《材　料》干しアケビ50個くらい・押し豆・干しシイタケ・板コンニャク・油揚げ・ゴボウ・ニンジン・カンピョウ・しょうゆ2カップ・みりん適宜・本だし少々・三温糖500グラム・ハチミツ大さじ1杯・酢小さじ1杯

《作り方》

①干しアケビは水からゆで、沸騰してから30～40分ふたをして煮る。火を止めて冷たくなるまでそのまま蒸す。

②黒い色の水がなくなるまで、1日1～2回水をかえて、3日間くらいさわす。

③野菜をアケビの長さに細く切り、押し豆からゴボウの順にアケビに入れる。最後に1センチ幅に切ったニンジン2本でふたをして、カンピョウで結ぶ。

④③をなべに並べ、干しシイタケの戻し汁と水をアケビがひたるくらい入れ、20分煮る。

⑤しょうゆや砂糖は好みで加減して2回に分けて入れるようにし、他の調味料を入れる。汁が半分になったら弱火にし、汁がなくなるまで煮る。

夢⑫ かなうといいな

今月は水本小学校五・六年生です

●ぼくの夢は、宇宙飛行士になって人類初の金星到達をめざすこと。金星の次は木星に、木星の次は銀河系を一周します。楽しいだろうな。

高橋　淳・水本

●ぼくは飛行機が好きなので飛行機のパイロットになりたい。世界一じょうずなパイロットになって、世界中を自由に飛び回りたい。

岡崎　新・水本

●私は絵を書くのが好きなので画家になりたい。日本はもちろんのこと、世界中のいろんな風景や動物を描きながら旅をしてみたい。

高橋恵里・水本

●日本初の女性ジャンパーになりたい。原田さんのような失敗を恐れないジャンパーになり、オリンピックで金メダルを取りたい。

高橋亜美・水本

町立図書館 新刊情報

▼あなたは誰と暮らしますか（佐橋慶女）▼月のしずく（浅田次郎）▼少年（毎日新聞社）▼浅草のみだおれ（吉村平吉）▼おんなぢから（山中若菜）▼次はこうなる（堺屋太一）▼老人栄えて国滅ぶ（野末陳平）▼「男と女」の検事調書（松木麗）▼女処刑人ジャネット（A・J・ホールト）▼新宿ダンボール村闘いの記録（新宿連絡会）▼勝海舟（童門冬二）▼癌と私の共同生活（俵萠子）▼長英逃亡（吉村昭）▼アダルトチルドレンと少女漫画（荷宮和子）

■広報あさひまち　第496号　平成10年3月15日発行　■発行　山形県朝日町　■編集　朝日町広報委員会／山形県西村山郡朝日町大字宮宿1115　☎0237(67)2111　■印刷　豊田太印刷所

1997年度読書感想画中央コンクール

朝日分校生が最優秀賞を受賞

一九九七年度読書感想画中央コンクール（全国図書館協議会、毎日新聞社主催）高等学校の部で、佐竹悟さん（助ノ巻・県立左沢高校朝日分校二年）が見事最優秀賞を受賞しました。

読書感想画とは、図書を読んでの感想を絵に表現したもの。同コンクールは、小学校低学年の部から高校の部と四部門に分かれており、全国八千六百校から約四十八万点の作品が寄せられました。

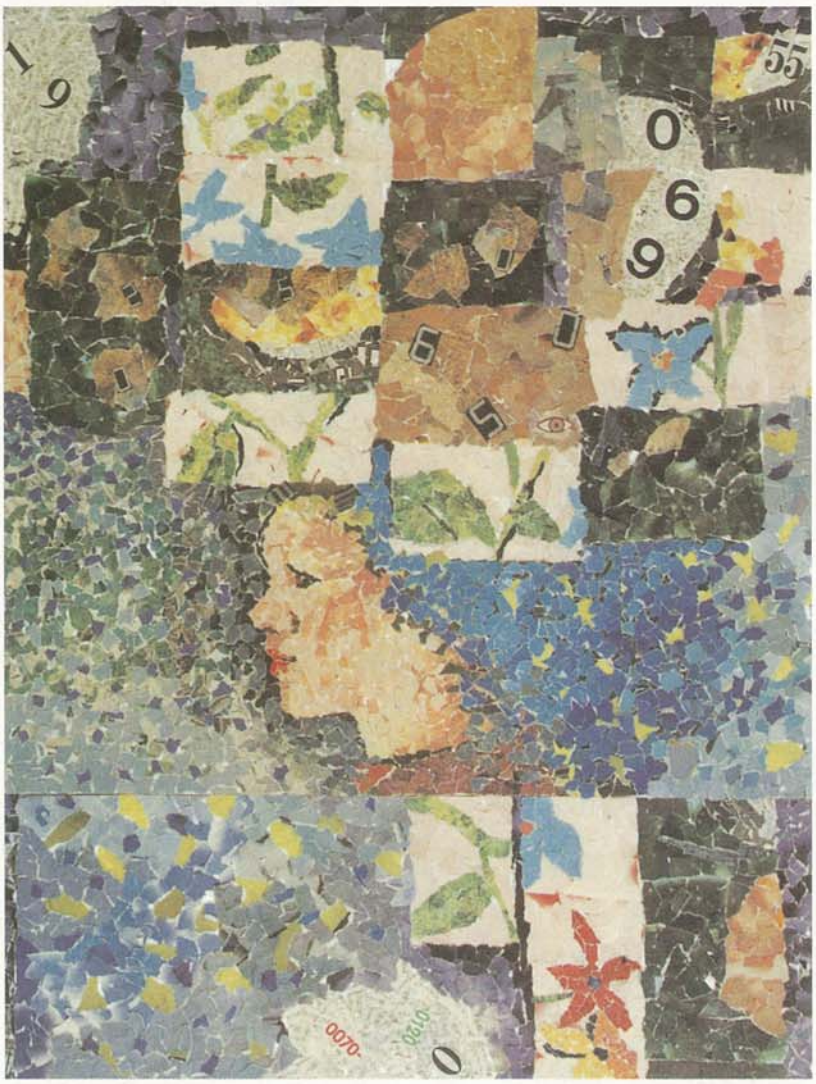
「生きる」と題した佐竹さんの作品は、ミヒャエル・エンデ著の物語「モモ」（岩波書店）からの題材。作品は主人公のモモが時間を奪われた人々のために時間を取り戻し、消えていった場面を喜びとも悲しみともつかぬ表情のモモを中心に、新聞のカラー紙面だけを使ったちぎり絵で表現し、半年間をかけて完成させた力作です。

佐竹さんは「新聞のくすんだ色を使うことで温かみを表現しました。母校の最後の年に日本一となり花を飾れたかな」と、にっこり笑って受賞の喜びを語ってくれました。

高校の部・最優秀賞

「生きる」

製作者／佐竹　悟さん
（助ノ巻・県立左沢高校朝日分校2年）



春夏秋冬　編集後記

▼「原田！飛べ～」「清水！やったぁ」。テレビにくぎづけとなった長野オリンピックも大成功に終わりました。金メダル五個、銀一個、銅四個を獲得した日本選手の大活躍は、私たちに感動と勇気を与えてくれました。中でもジャンプの団体戦。笑顔の原田が泣き顔の原田になったときは、思わずもらい泣きしてしまいました。

残念ながら入賞できなかった選手のみなさんも含め、感動をありがとう。そして、縁の下の力持ちに徹したボランティアのみなさん、本当にご苦労さまでした。

▼取材帰りにふと土手を見ると、福寿草が咲いていました。待ち焦がれた春がもうすぐ訪れます。この時期は三寒四温と呼ばれ、身体の調子を崩しやすい季節。風邪などひかないように気をつけましょう。（岡）